

年収約496万円の
家計に例えると…

5万人の台所事情

亀山家(市)の家計簿

令和4年度の実際の一般会計決算を1/5000にして、約496万円の家計に例えてみました。
市にはさまざまな種類の収入と支出があり、一般の家庭とは少し違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

収入		令和3年度からの増減	支出		令和3年度からの増減
現金収入合計	429万円	(-6万円)	生活費用合計	344万円	(-5万円)
給料(基本給)	210万円	(+3万円)	食費	77万円	(-1万円)
▶ 市税、分担金および負担金			▶ 人件費		
給料(諸手当)	86万円	(+5万円)	医療費	83万円	(-18万円)
▶ 地方交付税、譲与税・交付金等			▶ 扶助費		
パート収入	13万円	(-3万円)	光熱水費などの雑費	110万円	(+11万円)
▶ 諸収入、使用料・手数料			▶ 物件費、補助費等		
親からの援助	120万円	(-11万円)	車などの修理代	11万円	(-2万円)
▶ 国庫支出金、県支出金			▶ 維持修繕費		
ローン(借入金)	35万円	(-11万円)	教育費	63万円	(+5万円)
▶ 市債			子どもへの仕送り	30万円	(-8万円)
貯金の取り崩し	18万円	(+6万円)	▶ 繰出金		
▶ 繰入金			ローンの返済	39万円	(-2万円)
繰越金	14万円	(+4万円)	▶ 公債費		
▶ 繰越金			家や庭の建築・改修	57万円	(+16万円)
			▶ 普通建設事業費、災害復旧事業費		
			貸付など	6万円	(+5万円)
			▶ 貸付金、投資および出資金		
			貯金など	4万円	(-5万円)
			▶ 積立金、予備費		
収入合計	496万円	(-7万円)	支出合計	480万円	(+1万円)
			余り	16万円	(-8万円)
貯金額	146万円	(-3万円)	ローン残高	318万円	(-4万円)

令和4年度の家計は…

コロナ禍における生活スタイルが続く中で、給料(基本給・諸手当)は増えた一方、パート収入や親からの援助は減ったため、貯金の取り崩しを増やすなどしましたが、収入合計は減り、貯金額も減りました。また、医療費は減りましたが、光熱水費などの雑費、家や庭の建築、老朽化に伴う改修などに係る支出は増えたこともあり、支出合計は前年並みになりました。

新型コロナウイルス感染症の影響から脱しつつあり、生活スタイルも変化していますが、エネルギー価格・物価高騰などは続いています。引き続き節電や節水に努めるほか、その他の出費についても無駄がないか見直して家計のやりくりにも努めます。また、ローンの借り入れや貯金の取り崩しを最小限にとどめるなど、家計の安定を図っていきます。

※計数ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。



令和4年度つうしんば
わかりやすい決算書

発行：亀山市 編集：政策部広報秘書課広報グループ
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955 ホームページ <https://www.city.kameyama.mie.jp>
広報かめやまは、古紙パルプ配合率80%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。